

現代日本論概論「現代日本における職業」

## 課題返却と講評

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 授業のまとめ

### 1 進捗確認課題2について

各問10点 (満点 = 30)

- 派遣労働の契約期間、法律上の特徴と実際の問題
- 階級論、労働統計、労働法の発想の違い

### 2 授業でとりあげた領域

(1) 労働統計 (2) 法学 (3) 経済学・経営学 (4) 社会階層論 (5) ジェンダー論

### 3 習得してほしかったこと

- 各分野の基本的な概念と考えかた
- 現代日本における具体的な状況 (制度とデータ)
- 統計や法律などを調べる能力
- 習得した事項を、別の場面・文脈に応用する能力
- モデル vs. 価値 vs. 規範

### 4 労働問題と現代社会

近代化と労働、家族、福祉の制度変化

- 労働と社会権
- 労働とマクロ経済
- 人口移動と労働

政治と労働

- 「労務」の性質と自由権
- 労働と平等権 差別の禁止と実質的平等
- 労働行政
- 集団的労使関係
- 労働運動と社会的勢力

## 人生と労働

- アイデンティティと職業
- 人間関係と職業
- 労働と意識
- 不確実性とキャリア

## いわゆる「日本的経営」について

- 終身雇用
- 年功序列
- 企業別労働組合

## 5 社会科学の考えかた

- 再帰性：研究成果が研究対象を変える
- 主観性：研究者自身が測定装置
- 規範性：「社会はどうあるべきか」「私たちはどうすべきか」が重要

### 言語学との親近性

自然科学（たとえば物理学）とはどこがちがうか？

医学や歴史学や文学や数学とのちがいは？